

専門職と無償で 同行訪問しませんか

専門職と訪問したい事業所を募集しています！

岡山市では、訪問介護員の訪問に市が無償で派遣する専門職が同行し、利用者の状態像チェックや、訪問介護員に向けて利用者の自立に役立つアドバイスをする訪問介護インセンティブ事業の参加事業所を募集しています。

この事業は訪問介護と専門職の連携から利用者の状態改善や自立促進を目指すものです。

年間を通じて事業に参加した事業所にはインセンティブとして表彰状が授与される他、特に利用者の状態像が良好だった上位事業所には市長表彰（奨励金(10万円)の交付を含む)を行います。

事業の流れ



1 参加申込
5月上旬

ご利用者様の中から事業に参加する方を5人程度選んで申し込みます。

2 マッチング
5月中旬

ご利用者様の訪問日程を参考に、**岡山市**が同行訪問を担当する専門職を決定します。

3 訪問調整
5月下旬

参加事業所と専門職がやり取りし、利用者情報の共有や、訪問日時の調整を行います。

4 同行訪問・助言
6月～12月

専門職が訪問介護員の訪問に同行し、利用者像の確認や訪問介護員にアドバイスをを行います。

5 研修参加
10月頃

自立支援をテーマとした市主催の研修会（年1回）に参加します。
※ 研修は同内容で複数回行いますので、ご都合の良い回にご参加ください。

6 表彰
3月下旬

上位10事業所には表彰式の場で市長から表彰状及び奨励金10万円を贈呈します。
※ その他事業所には表彰状を郵送します。



女性
80代
独居

Before

- ADL、IADLは見守り～自立レベル。
- 利用者が自分でできない部分を介入している。
- 入浴はシャワー浴のみ。立位で衣類着脱～洗体・洗髪するも時折不安定さがあり介入。脱衣所では体の拭き動作や衣類着脱などにふらつきが見られる。

アドバイス

- ☀️ シャワー浴の自立を目標に訪問介護員の介入を最小限にするため、現状のADL等からできることを確認。
- ☀️ 脱衣所に簡易椅子を置き、気になる動作を座位ではどうか。

After

- ☑️ シャワー浴を自立してできるようになり、一旦サービスは終了した。
- ☑️ 座位で行うように変更したため、ふらつきなどは改善した。



男性
80代
サ高住

Before

- ADLはおおむね自立レベル
- シーツ交換やモップかけ、ハンガーから衣類を外す等の作業を、訪問介護員の声かけの元、一緒に実施。しかし、声かけなしで作業を行うことが難しく、衣類がタンスに片付けられずに椅子の上に溜まっている状態。

アドバイス

- ☀️ タンスやクローゼットに収納する物の名前などを記載して、視覚的にどこに何を片付ければよいか分かるようにしてはどうか。

After

- ☑️ 初回では片付けられずに置きっぱなしになっていた衣類が、自発的に片付けられるようになった。

参加事業所の声



専門職ならではの視点に気付かされた

ADLの確認や座位の取り方、利用者の状態に合わせた動作解説など専門職ならではの助言が多く、ケアに役立った。

訪問介護員だけでなく利用者にも良い影響

同行訪問した専門職に利用者が自身の身体のことなどで質問するなど、訪問介護員だけでなく利用者にも効果があった。

利用者が耳を傾けやすい

訪問介護員の助言が入りづらい利用者でも、専門職の助言は素直に聞いていた。

利用者がサ高住から一般住宅に

この事業で選定した利用者2人は状態が改善し、サ高住から一般住宅に戻ることができた。

Web情報

